



HOKKAIDO
UNIVERSITY

～講演会のご案内～

東北大学名誉教授の田村眞理先生が来学される機会に、講演会を企画しました。

田村眞理先生は、プロテインホスファターゼによるタンパク質および細胞機能の制御機構に関する研究のパイオニアであり、多くの重要な国際的な業績を上げておられます。本講演会では、先生のご研究について、興味深いお話が伺えるものと思いますので、多数ご参加下さい。

演題：『**プロテインホスファターゼ 2C による
細胞機能の制御**』

講師： 東北大学名誉教授
田村 眞理 先生

日時： 2013年5月14日（火）15：00～16：00

場所： 理学部6号館6-204-02室（多目的演習室）

共催： 生命分子化学セミナー，日本生化学会北海道支部

要旨：

プロテインホスファターゼ 2C (PP2C) はタンパク質セリン/スレオニンホスファターゼファミリーの一つであり、ヒト細胞には17種類のPP2C遺伝子が存在することが知られている。PP1、PP2A 及び PP2B が分子進化上同じ起源に由来するのに対し、PP2C の起源はそれとは異なることが一つの特徴である。また、他のファミリーが調節サブユニットと活性サブユニットから構成されるオリゴマー酵素であるのに対し、PP2C はモノマー酵素で、分子量が比較的大きいという特徴がある。これらのことから、1) PP2C はファミリーとしてユニークな細胞内機能を持つこと、2) 個々のPP2C ファミリーメンバーが活性ドメインに加えて、酵素活性や細胞内局在の制御に関わる様々なドメインをも内蔵していることが予想された。我々は長年にわたってこれらの点の解明を目的として研究を進めてきた。本講演では、過去の研究成果のレビューと最新の成果の紹介を行いたい。

連絡先：北海道大学大学院理学研究院
化学部門 生物化学研究室
坂口 和靖 (011-706-2698)